


(様式第2号)

会派政務調査活動(行政視察)報告書

(総括)

会派名	だいせんの会
会派の代表者名	高橋敏英 
視察(調査)期日	平成30年3月21日(水)～23日(金)
視察(調査)先	衆議院第一会館・参議院会館 神奈川県川崎市川崎区
視察(調査)の目的 (大仙市の現状と 選定理由等)	「衆議院第一会館・参議院会館」 秋田県出身議員との情報交換と陳情 「神奈川県川崎市川崎区」 王禅寺処理センター(ゴミ処理施設)のしくみ
視察(調査)の行程	別紙の通り
視察(調査)への 参加議員名	高橋敏英、佐藤芳雄、古谷武美、橋村誠、児玉裕一 石塚 柏、高橋徳久 (7名)
視察(調査)概要	「秋田県出身議員との情報交換と陳情」 県選出国會議員、「御法川先生・金田先生・中泉先生・石井先生 ・進藤先生」との情報交換と陳情 「王禅寺処理センター(ゴミ処理施設)のしくみ」 「環境保全」「低酸素・資源循環」「自然共生」を施設の特徴とし た自然環境との調和について。 特に資源循環の内、ゴミ焼却で発生する廃熱を利用した発電と余熱 利用について。

<p>視察(調査)の成果と本市に反映できる事項或いは反映させたい事項について</p>	<p>県選出国會議員、「御法川先生・金田先生・中泉先生・石井先生・進藤先生」との情報交換と陳情」について。 各議員とも委員会開催中とのことで面会できなかったが秘書の皆様は大仙市の状況報告ができた。 また、次期副市長の西山光博様との懇談ができたので大仙市の状況の報告と情報交換ができた。</p> <p>「環境保全」「低酸素・資源循環」「自然共生」を施設の特徴とした自然環境との調和について。 特に資源循環の内、ゴミ焼却で発生する廃熱を利用した発電と余熱利用について。</p> <p>「環境保全」については周辺環境に配慮した設備にとになっていて苦情等は全くないとの事であった。</p> <p>「低酸素・資源循環」については今回視察目的である廃熱利用については、ごみ焼却熱で高温蒸気を作り蒸気タービン発電機で発電し施設内への電力供給と余った電気を売電し収益に繋げているとの事であった。発電で使用した蒸気の余熱を隣の施設「温水プール・老人休養施設」へ送り余熱の有効利用をしていた。</p> <p>大仙美郷クリーンセンターではごみの焼却だけを目的としているが廃熱を有効利用した施設とし発電による売電を考えていかななくてはと考える。</p>
<p>その他 (会派としての総合的意見、上記成果への今後の取り組み等)</p>	<p>大仙美郷クリーンセンターのごみ焼却炉の耐用年数が来た時点で今回の視察で得た余熱利用を考えた施設になるよう提案していきたい。</p>